

# 平成30年度 地域包括支援センター事業運営評価シート

資料1-2-1

(センターの名称: 地域包括支援センター ゆず )

| 国業務評価 |    | 市運営状況評価 |    |
|-------|----|---------|----|
| ○     | ×  | ○       | ×  |
| 47個   | 8個 | 9個      | 1個 |

|                       |   |
|-----------------------|---|
| <b>地域包括支援センター自己評価</b> | 市と協働し適正な包括支援センター運営に努めると共に、本センター独自の取り組みを多数実施した。包括支援センターゆずの独自事業を事業計画に位置づけ実施したものに介護支援専門員サロン、市民が気軽に参加できる体操教室ゆずクラブの実施。前年同様に茅ヶ崎地区及び茅ヶ崎南地区の2地区にまたがり地区まちぢから協議会の委員の役を受け定例会へ参加した。茅ヶ崎南地区では地域福祉部会を主体的に運営した。地域団体への顔の見える関係作りについても積極的に行い、地域サロンへの参加、両地区のボランティアセンターや地区社会福祉協議会への会議への出席等で協力体制を推進した。また、男性向けのサロン、当事者会と各種社会資源創出を行った。地域ケア会議は個別の地域ケア会議及びまちぢから協議会共催の会議と2回開催することができた。 |
|-----------------------|---|



|                            |  |
|----------------------------|--|
| <b>基幹型包括ヒアリングのポイント及び結果</b> | <b>【ヒアリング実施日】:</b> 令和元年5月29日<br>・一年を通して、2つのまちぢから協議会に関わり、役員を引き受けるなど、地域の関係団体との連携協力を努めている。<br>・独自事業として、地域の社会資源を勘案しながら、男性向けのコーヒーサロンや体操教室ゆずクラブ等を開催していた。<br>・市評価については、人材育成の管理指導を担っているトレーナーの役割に関する項目を除き、基準を満たしている。スーパービジョンの考え方については地域包括支援センター内で共有し、意識することで、効果をあげており、業務に支障は生じていない。 |
|----------------------------|--|



地域包括支援センターの自己評価及び基幹型包括によるヒアリングの結果について、運営協議会に報告を行う。



|                 |  |
|-----------------|--|
| <b>茅ヶ崎市総合評価</b> | ・国評価項目については、47点(55点満点)であり、全12包括の平均43.0点に比べて高い水準である。<br>・国評価の項目について、市の取り組み状況の結果、○とできない項目を除いて、概ね評価の基準を満たしている。<br>・担当区域の再編(茅ヶ崎南地区)に伴う対応については、それぞれの地区の会議への参加など業務に負荷がかかっている中でも、地域との関係性をしっかりと構築できていることを評価している。<br>・昨年度の指摘項目であった「苦情に対する対応の検討」については、改善がなされ適切に対応されている。<br>・「個人情報の持ち出し」に関する評価項目が未達成となっている。昨今の個人情報の取り扱いの厳格化を踏まえ、これまで以上に細心の注意を払いながら事業に取り組んでいただきたい。 |
|-----------------|--|

\* 市としての総合評価は、運営協議会の意見等を踏まえ、決定する。

# 平成30年度 地域包括支援センター事業運営評価シート

資料1-2-2

(センターの名称: 海岸地区地域包括支援センターあい )

| 国業務評価 |     | 市運営状況評価 |    |
|-------|-----|---------|----|
| ○     | ×   | ○       | ×  |
| 45個   | 10個 | 10個     | 0個 |

|                       |   |
|-----------------------|---|
| <b>地域包括支援センター自己評価</b> | <p>今年度の実績として、四季サロン(年4回47名参加)、認知症サポーター養成講座(21名参加)、家族介護教室(8名参加)を企画し、開催した。引き続き行ったちがさき体操・湘南くち体操開催時はコグニサイズも取り入れ住民の健康維持・介護予防に取り組んだ(年間延べ158名)。老人会や医療機関より依頼を受けて、健康講座等講演会や包括業務紹介等を行った。まちぢから協議会へ毎月参加し、防災訓練、地区社協のお祭りにも参加し、ネットワークを構築した。困難ケースに関して、認知症初期集中支援チーム員会議に積極的に参加し、民生委員や市、医療機関等と連携し問題解決を図った。茅ヶ崎南地区についても引き続き包括ゆずと連携を図り民児協やまちぢから協議会福祉部会、地域ケア会議等協働した。自己啓発の為、各テーマに沿って研修に積極的に参加し、包括内で共有した。</p> |
|-----------------------|---|



|                            |   |
|----------------------------|---|
| <b>基幹型包括ヒアリングのポイント及び結果</b> | <p>【ヒアリング実施日】令和元年5月16日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防のための講座等を積極的に行い、住民の健康維持に努め、地域の関係機関とも連携を図っている。</li> <li>・センター主催の地域ケア会議を4回実施し、議事録や検討事項をまとめ、参加者間で共有を図っている。また、個別事例については、モニタリングも行っている。</li> <li>・地域の老人会で介護保険申請の流れや介護予防等について講話するなど、介護支援専門員が円滑に業務を行うことができるよう、地域に働きかけている。</li> <li>・国評価Q25の個人情報の持出等について、持ち出す個人情報を記録し、確認を行う等、厳重に管理している。</li> </ul> |
|----------------------------|---|



地域包括支援センターの自己評価及び基幹型包括によるヒアリングの結果について、運営協議会に報告を行う。



|                 |   |
|-----------------|---|
| <b>茅ヶ崎市総合評価</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国評価項目については、45点/55点満点、全12包括の平均43.0点に比べて高い水準である。</li> <li>・市評価は10項目全ての基準を満たしている。</li> <li>・担当区域の再編(茅ヶ崎南地区)に伴う対応については、それぞれの地区の会議への参加など業務に負荷がかかっている中でも、地域との関係性をしっかりと構築できていることを評価している。</li> <li>・昨年度の指摘項目として、年度内でのトレーナー(職員)交代による引き継ぎの不足があったが、現在は改善が図られている。今後も職員の人事異動の際には円滑に事務が引き継がれるよう注意していただきたい。</li> </ul> |
|-----------------|---|

\* 市としての総合評価は、運営協議会の意見等を踏まえ、決定する。

平成30年度  
地域包括支援センター事業運営評価シート

資料1-2-3

(センターの名称:南湖地区地域包括支援センターれんげ)

| 国業務評価 |    | 市運営状況評価 |    |
|-------|----|---------|----|
| ○     | ×  | ○       | ×  |
| 46個   | 9個 | 10個     | 0個 |

|                       |   |
|-----------------------|---|
| <b>地域包括支援センター自己評価</b> | <p>市の方針に即し、30年度の事業計画を全職員で検討、策定し、計画に沿って事業運営を行ってきた。運営の実施状況について、計画通り行われているか、評価、振り返りを行いながらすすめることで滞りなく業務が遂行できた。今年度課題として重要視してきた所内での連携、チーム力向上については、所内定例会議や朝のミーティングを有効に活用し、全職員が意識をもつことで強化につなげることができた。公正で中立的な事業運営を行うことを意識した上で地域で活動することから見える課題や地域の特性に応じて取り組むべきことを地域ケア会議等を用い、検討することができた。</p> |
|-----------------------|---|



|                            |  |
|----------------------------|--|
| <b>基幹型包括ヒアリングのポイント及び結果</b> | <p>【ヒアリング実施日】令和元年5月13日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・隣接するセンターと協力し、介護支援専門員を対象とした勉強会や事例検討会の開催に積極的に取り組んでいる。</li> <li>・地域のニーズに基づき、民生委員と介護支援専門員の連携や防災・減災に向けた取り組みなど、様々なテーマで地域ケア会議を開催している。</li> <li>・7月に、前管理責任者から円滑な引き継ぎがなされ、センター開設時からの管理者が管理責任者を兼務している。また、センター全体で情報の共有やチーム力の向上に取り組んでいる。</li> </ul> |
|----------------------------|--|



地域包括支援センターの自己評価及び基幹型包括によるヒアリングの結果について、運営協議会に報告を行う。



|                 |   |
|-----------------|---|
| <b>茅ヶ崎市総合評価</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国評価項目については、46点(55点満点)であり、全12包括の平均43.0点に比べて高い水準である。</li> <li>・国評価について、市の取り組み状況の結果、○とできない項目を除いて、概ね評価の基準を満たしている。</li> <li>・市評価については、全項目で基準を満たしている。</li> <li>・前年度(29年度)に包括内での情報共有が不十分であった結果、苦情につながったケースがあったが、それを踏まえ、30年度は所内での連携、チーム力向上を重点課題として掲げ、全職員が意識をもつことにより体制強化を図った点は評価できる。</li> <li>・「個人情報の持ち出し」に関する評価項目が未達成となっている。昨今の個人情報の取り扱いの厳格化を踏まえ、これまで以上に細心の注意を払いながら事業に取り組んでいただきたい。</li> </ul> |
|-----------------|---|

\* 市としての総合評価は、運営協議会の意見等を踏まえ、決定する。

# 平成30年度 地域包括支援センター事業運営評価シート

資料1-2-4

(センターの名称: 鶴嶺東地区地域包括支援センターさくら)

| 国業務評価 |      | 市運営状況評価 |   |
|-------|------|---------|---|
| ○     | ×    | ○       | × |
| 45 個  | 10 個 | 10個     | 0 |

|                       |  |
|-----------------------|--|
| <b>地域包括支援センター自己評価</b> | <p>①民生児童委員定例会報告や第3ブロックケアマネ部会との連携勉強会を行い地域の「見守り、ネットワーク構築」の一歩となった。</p> <p>②地域のサロン活動支援や包括の広報活動「虹たより」の自治会配布やサロン活動支援が継続でき、自治会と連携は継続できている。</p> <p>③認知症サポーター養成講座開催は3回開催できた。また認知症初期集中支援チーム会議に事例検討を挙げ専門医や認知症医療センターとの連携を積極的に図る事が出来た。</p> <p>④地域ケア会議は4回の開催でき、専門職や施設職員の参加を意識して地域の方々への理解して頂く働きかけが行えた。</p> <p>⑤総合相談件数としては、新規相談321件の結果となり前年度より122%増となった。職員の相談援助技術も茅ヶ崎市人材育成に参加し、所内で伝達講習やケース検討や支援の検討、共有を行い包括職員として専門性の向上が出来るよう職員全員で意識を持つことができた。</p> |
|-----------------------|--|



|                            |  |
|----------------------------|--|
| <b>基幹型包括ヒアリングのポイント及び結果</b> | <p><b>【ヒアリング実施日】</b>令和元年6月4日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・センターとして取り組むべき重点業務を明らかにする上で、担当圏域の実情やニーズの捉え方について、ヒアリングを通じて整理した。</li> <li>・国評価について、市の取り組み状況の結果、○とできない項目を除いて、概ね評価の基準を満たしている。</li> <li>・市の評価については全項目で基準を満たしている。</li> <li>・地域ケア会議開催後、参加者と検討事項の共有を図っており、その後の変化等について適切にモニタリングを行うことができています。</li> <li>・今後、介護支援専門員と多様な関係機関との意見交換の場を設定する等、介護支援専門員に対する支援を行う必要はあるが、在宅ケア相談窓口の活用、認知症初期集中支援チーム会議への出席等、センターとして必要な関係機関と連携を図ることができている。</li> </ul> |
|----------------------------|--|



地域包括支援センターの自己評価及び基幹型包括によるヒアリングの結果について、運営協議会に報告を行う。



|                 |   |
|-----------------|---|
| <b>茅ヶ崎市総合評価</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国評価項目については、45点(55点満点)であり、全12包括の平均43.0点に比べて高い水準である。</li> <li>・市評価は、10項目すべての基準を満たしている。</li> <li>・前年度(29年度)には、災害時等の参集基準が不明瞭である点を指摘したが、30年度は参集基準を明確化するとともに災害時の具体的な行動計画が作成されているため改善が図られたものと評価している。</li> <li>・地域ケア会議については、多職種との連携を図りながら個別事例の検討を行い、その内容を関係者間で共有するとともに市へ適時報告するなど、包括さくらを中心に会議運営が円滑に行われていることを評価している。</li> <li>・「個人情報持ち出し」に関する評価項目が未達成となっている。昨今の個人情報の取り扱いの厳格化を踏まえ、これまで以上に細心の注意を払いながら事業に取り組んでいただきたい。</li> </ul> |
|-----------------|---|

\* 市としての総合評価は、運営協議会の意見等を踏まえ、決定する。

平成30年度  
地域包括支援センター事業運営評価シート

資料1-2-5

(センターの名称: 地域包括支援センター みどり )

| 国業務評価 |     | 市運営状況評価 |    |
|-------|-----|---------|----|
| ○     | ×   | ○       | ×  |
| 40個   | 15個 | 9個      | 1個 |

|                       |  |
|-----------------------|--|
| <p>地域包括支援センター自己評価</p> | <p>高齢者に関する相談を通じ、援助を要する方へのアプローチが後手に回っていたことがあり、ネットワークを広げるだけでなくキャッチできる眼、体制を作る事の必要性を感じた。その結果、包括センター組織内の情報共有や、支援の方向性について課内で検討するために申し送りや、記録を継続的にとることで、職員間での情報の差が少なくなる効果が得られた。</p> <p>管理者が途中で変わることもあったが、課内で対応が遅れることがないよう、職員それぞれが引継ぎを行いチームとしての対応力がついてきている。</p> <p>今後の課題として、地域課題を明らかにするために、研修で学んだ着眼点と実行動を結び付けていく力を身につける必要があると考える。併せて地域へ当センターの役割の周知を一層広めていくために、住民に対し学びや気づきの機会を設けていきたい。</p> |
|-----------------------|--|



|                            |  |
|----------------------------|--|
| <p>基幹型包括ヒアリングのポイント及び結果</p> | <p>【ヒアリング実施日】令和元年5月8日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11月に管理責任者が交代したが、引き継ぎ期間も設けており、管理責任者の交代による大きな問題は生じていない。交代後、管理責任者として地域の関係者との関係づくり等に努めていた。また、センター職員間での話し合いや組織として協働して取り組む過程等を重視していた。</li> <li>・国評価の包括的・継続的ケアマネジメント支援や地域ケア会議のいくつかについては、十分には取り組みがなされていないことを共有した上で、令和元年度の改善に向け、具体的な対応等について意見交換を行った。国評価Q65については、相談するような案件が生じなかったため、×となった。</li> <li>・市評価については、人材育成の管理指導を担っているトレーナーの役割に関する項目を除き、基準を満たしている。スーパービジョンの考え方については、センター内で共有し、意識することで、効果をあげており、業務に支障は生じていない。</li> </ul> |
|----------------------------|--|



地域包括支援センターの自己評価及び基幹型包括によるヒアリングの結果について、運営協議会に報告を行う。



|                 |  |
|-----------------|--|
| <p>茅ヶ崎市総合評価</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国評価項目については、40点(55点満点)であり、全12包括の平均43.0点を下回っている。</li> <li>・「包括的・継続的ケアマネジメント支援」については、担当区域の介護支援専門員への支援の点で基準に満たない項目が多いため、今後は、介護支援専門員のニーズに基づく関係者間の意見交換を行うなど積極的に取り組んでいただきたい。</li> <li>・前年度(29年度)は、職員間で年間のスケジュールや目標の共有が不十分なため、計画的に実施できていない事業があったが、30年度は職員間の話し合いなどの過程を重視した結果、概ね計画通りに事業が推進できたと評価している。</li> </ul> |
|-----------------|--|

\* 市としての総合評価は、運営協議会の意見等を踏まえ、決定する。

# 平成30年度 地域包括支援センター事業運営評価シート

資料1-2-6

(センターの名称: 地域包括支援センター すみれ)

| 国業務評価 |    | 市運営状況評価 |    |
|-------|----|---------|----|
| ○     | ×  | ○       | ×  |
| 46個   | 9個 | 10個     | 0個 |

|                       |  |
|-----------------------|--|
| <b>地域包括支援センター自己評価</b> | <p>地域包括ケアシステム構築に向けた地域ケア会議を年3回、認知症サポーター養成講座を年4回(内1回は中島中学校3年生向け)実施。地域住民のゼロ次予防、MCI予防、交流機会の提供を目的とした『すみれカフェ』を毎月1回継続し実施。</p> <p>地域のサロンや老人会活動への協力として血圧測定やちがさき体操、ストレッチ体操、コグニサイズなどを実施。神奈川県健康財団の方にコグニサイズの指導を受け職員のスキルアップを行った。</p> <p>湘南地区内で開催されている防災訓練・福祉祭り・地区懇談会等へ参加し、地域の状況把握を行った。また、関係団体が主催する会議へ参加させて頂き、地域ニーズに沿った支援を行っている。</p> <p>4月に採用した職員が、6月に退職。7月あらたに職員を採用し切れ目なく業務を実施する事はできたが、上半期は職員教育の余力がなく、下半期になり行う事が出来た。</p> |
|-----------------------|--|



|                            |  |
|----------------------------|--|
| <b>基幹型包括ヒアリングのポイント及び結果</b> | <p><b>【ヒアリング実施日】令和元年5月13日</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防のための講座等を積極的に多数行い住民の健康維持に努め、地域の関係機関とも連携を図っている。</li> <li>・介護支援専門員のニーズに基づき、隣接するセンターと協力し、介護支援専門員を対象とした勉強会や事例検討会の開催に積極的に取り組んでいる。</li> <li>・介護支援専門員が円滑に業務を行うことができるよう、定期的に地域のサロンに出向き、介護予防・自立支援に関する意識の啓発を図っている。</li> <li>・センター主催の地域ケア会議を3回実施し、議事録や検討事項をまとめ、参加者間で共有を図ると共に、個別事例についてはモニタリングも行っている</li> <li>・地域ケア会議や独自事業等を活用し、認知症予防のためのコグニサイズの実施や地区内の認知症カフェの開設への支援に取り組んでいる。</li> </ul> |
|----------------------------|--|



地域包括支援センターの自己評価及び基幹型包括によるヒアリングの結果について、運営協議会に報告を行う。



|                 |  |
|-----------------|--|
| <b>茅ヶ崎市総合評価</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国評価項目については、46点(55点満点)であり、全12包括の平均43.0点に比べて高い水準である。</li> <li>・基幹型包括の評価にもあるように、介護予防のための講座等を通じて住民の健康維持に資するような様々な取組を行っていることを高く評価している。</li> <li>・30年度は職員の退職という不測の事態に対して切れ目なく業務を実施することが出来た。引き続き、不測の事態が発生しても切れ目なく業務が実施できるよう取り組んでいただきたい。</li> <li>・「個人情報の持ち出し」に関する評価項目が未達成となっている。昨今の個人情報の取り扱いの厳格化を踏まえ、これまで以上に細心の注意を払いながら事業に取り組んでいただきたい。</li> </ul> |
|-----------------|--|

\* 市としての総合評価は、運営協議会の意見等を踏まえ、決定する。

# 平成30年度 地域包括支援センター事業運営評価シート

資料1-2-7

(センターの名称: 松林地区地域包括支援センターくるみ)

| 国業務評価 |     | 市運営状況評価 |    |
|-------|-----|---------|----|
| ○     | ×   | ○       | ×  |
| 41個   | 14個 | 10個     | 0個 |

|                       |   |
|-----------------------|---|
| <b>地域包括支援センター自己評価</b> | <p>茅ヶ崎市指標については、基準を満たしている。「茅9」災害時の対応については、地域の防災訓練の参加はできているが、センター内での訓練を行うことには至っていない。まずは災害時マニュアル等を職員間で情報共有していきたい。</p> <p>国指標については、包括的・継続的ケアマネジメント支援項目において課題がある。</p> <p>市から適切な情報を提供してもらい、ブロック会議等の活動を生かしながら担当圏域における居宅介護支援事業所のニーズなどを把握できると良いと考える。</p> |
|-----------------------|---|



|                            |   |
|----------------------------|---|
| <b>基幹型包括ヒアリングのポイント及び結果</b> | <p><b>【ヒアリング実施日】</b>令和元年5月29日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防や重度化防止の取り組みとして、公民館との共催で月に2回、様々なテーマで講座を開催している。</li> <li>・地区内の小・中学校の生徒を対象とした認知症サポーター養成講座の開催に、積極的に取り組んでいる。</li> <li>・国評価の地域ケア会議に関する評価項目では個別事例をテーマとする会議の開催が評価の対象となっているため、評価は×となっているが、地域のニーズに基づいて民生委員と介護支援専門員のネットワーク構築をテーマとした地域ケア会議を開催し、地域の課題解決に取り組んでいる。</li> <li>・災害時の対策については、昨年度より継続した課題であるため、令和元年度については解決に向けた取り組みが必要である。</li> </ul> |
|----------------------------|---|



地域包括支援センターの自己評価及び基幹型包括によるヒアリングの結果について、運営協議会に報告を行う。



|                 |  |
|-----------------|--|
| <b>茅ヶ崎市総合評価</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国評価項目については、41点(55点満点)であり、全12包括の平均43.0点を下回っている。</li> <li>・取組方針として掲げている福祉サービス利用者の利益の保護と権利擁護を主眼とする地域福祉の実践に基づいた、アウトリーチによる支援として、地区行事への参加や講座の開催等、積極的に取り組んでいる点を評価している。</li> <li>・前年度(29年度)に災害時の対策について、職員への意識づけが不十分であった点を指摘した結果、30年度はフローチャアの整備や地域の防災訓練に参加するなど改善に向けて取り組んでいる。</li> </ul> |
|-----------------|--|

\* 市としての総合評価は、運営協議会の意見等を踏まえ、決定する。

# 平成30年度 地域包括支援センター事業運営評価シート

資料1-2-8

(センターの名称: 地域包括支援センターあかね )

| 国業務評価 |      | 市運営状況評価 |     |
|-------|------|---------|-----|
| ○     | ×    | ○       | ×   |
| 37 個  | 18 個 | 10 個    | 0 個 |

|                       |  |
|-----------------------|--|
| <b>地域包括支援センター自己評価</b> | <p>茅ヶ崎市指標、及び国指標の内の組織運営体制等の評価項目、個別業務の内の総合相談支援と包括的・継続的ケアマネジメント支援については概ね実施できていた。</p> <p>一方で地域ケア会議と介護予防ケアマネジメント・指定介護予防支援については情報共有のあり方について課題が明確となったことから、これらの評価項目を指標に努めて改善していく。</p> <p>全体を通して、平成30年度においての実績がなかったものと、4月末時点の状況を評価するものについては実施できていない傾向が見られたものの、次年度には改善できるものと考えている。</p> |
|-----------------------|--|



|                            |  |
|----------------------------|--|
| <b>基幹型包括ヒアリングのポイント及び結果</b> | <p>【ヒアリング実施日】令和元年5月24日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者数が最も多い地区であり、それを踏まえた上での取組を行っている。</li> <li>・地域ケア会議等を活用して、地域の関係者が主体的に「みんなの居場所」の開設や運営に取り組むことができるよう、支援している。その結果、世代を超えて多数の子どもや大人が集うなど、地域に根ざす活動となっている。</li> <li>・国評価のQ41、65については、相談する案件がなく×となっているが、関係機関との連携は取れている。</li> <li>・国評価の地域ケア会議に関する評価項目では、個別事例をテーマとする会議の開催が評価対象となっているため、評価は×となっているが、ネットワーク強化や地域の課題を話し合う、地域ケア会議を開催している。地域ケア会議の結果を参加者間で共有することについては、改善に向け、具体的な対応策を協議した。</li> </ul> |
|----------------------------|--|



地域包括支援センターの自己評価及び基幹型包括によるヒアリングの結果について、運営協議会に報告を行う。



|                 |  |
|-----------------|--|
| <b>茅ヶ崎市総合評価</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国評価項目については、37点(55点満点)であり、全12包括の平均43.0点を下回っている。</li> <li>・国指標の一部評価項目について基準を満たしていないが、実態としては関係機関との連携など事業の推進体制は整備されているものと認識している。来年度に向けては、自己評価での振り返りのとおり、国評価項目も意識した中で取組を推進していただきたい。</li> <li>・「個人情報の持ち出し」に関する評価項目が未達成となっている。昨今の個人情報の取り扱いの厳格化を踏まえ、これまで以上に細心の注意を払いながら事業に取り組んでいただきたい。</li> </ul> |
|-----------------|--|

\* 市としての総合評価は、運営協議会の意見等を踏まえ、決定する。



平成30年度  
地域包括支援センター事業運営評価シート

資料1-2-9

(センターの名称: 地域包括支援センター 青空)

| 国業務評価 |      | 市運営状況評価 |     |
|-------|------|---------|-----|
| ○     | ×    | ○       | ×   |
| 41 個  | 14 個 | 10 個    | 0 個 |

|                       |   |
|-----------------------|---|
| <b>地域包括支援センター自己評価</b> | <p>平成30年度小和田地区地域包括支援センター青空事業計画に掲げた事業は概ね実施できた。民生児童委員、小和田地区社会福祉協議会、まちぢから協議会福祉部会、介護事業所等の地域の関係機関と連携を意識して活動できネットワーク作りを進めることができた。積極的な研修参加等で職員のスキルアップにも取り組んだ。職員一同が、市民の自立支援に向けて、多様な社会資源を適切に活用できるよう意識して業務を行えた。</p> |
|-----------------------|---|



|                            |  |
|----------------------------|--|
| <b>基幹型包括ヒアリングのポイント及び結果</b> | <p>【ヒアリング実施日】令和元年5月29日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療ケアが必要なケースの個別事例や民生委員と介護支援専門員のネットワークづくり等をテーマにした地域ケア会議を開催し、地域の課題解決に取り組んでいる。</li> <li>・介護支援専門員が円滑に業務を行うことができるよう、毎月、事業者が行う教室や地域のサロン等に出向き講話を実施する等、地域住民に対して介護予防・自立支援に関する意識の啓発を図っている。</li> <li>・国評価Q26の苦情対応については、昨年度より継続した課題であるため、令和元年度は、解決に向けた取組が必要である。</li> </ul> |
|----------------------------|--|



地域包括支援センターの自己評価及び基幹型包括によるヒアリングの結果について、運営協議会に報告を行う。



|                 |   |
|-----------------|---|
| <b>茅ヶ崎市総合評価</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国評価項目については、41点(55点満点)であり、全12包括の平均43.0点を下回っている。</li> <li>・事業計画に掲げた内容は概ね実施できており、市評価についてもすべての項目で基準を満たしている。</li> <li>・前年度(29年度分)に指摘した苦情対応に関する取組については、30年度においても苦情記録の整理が十分とは言えないため、早急に改善を図っていく必要がある。</li> <li>・事業計画に掲げた取組を進めながら、並行して令和2年度開設予定の(仮称)小和田市営住宅外複合施設への包括移転を見据え、地域の関係者と協議を重ね、最終的に施設の管理運営規程を作成できた点を評価している。</li> </ul> |
|-----------------|---|

\* 市としての総合評価は、運営協議会の意見等を踏まえ、決定する。

# 平成30年度 地域包括支援センター事業運営評価シート

資料1-2-10

(センターの名称: 地域包括支援センター さざなみ )

| 国業務評価 |     | 市運営状況評価 |    |
|-------|-----|---------|----|
| ○     | ×   | ○       | ×  |
| 45個   | 10個 | 10個     | 0個 |

|                              |   |
|------------------------------|---|
| <p><b>地域包括支援センター自己評価</b></p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護支援専門員を対象とした勉強会や地域住民に対しての介護予防・自立支援のための出前講座を開催することが出来なかったため、平成31年度は勉強会や出前講座の開催を検討している。</li> <li>・自転車事故による介護保険申請があり自転車利用も多い地域でもあるため、高齢者自転車安全教室を自主事業として開催し15名の参加があった。次年度も開催を予定し、介護予防の観点から自転車での事故軽減を啓発していきたい。</li> <li>・地区社協主催の認知症サポーター研修の協力、ふれあいネットワーク交流会へ事例提供とグループワークへの参加ができた。今後も地区社協との連携の機会が作れるよう働きかけをする。</li> <li>・困難事例を通じて、市担当者と話し合いの機会を持つことができ、連携し支援を受けながら、迅速に対応することができた。</li> </ul> |
|------------------------------|---|



|                                   |   |
|-----------------------------------|---|
| <p><b>基幹型包括ヒアリングのポイント及び結果</b></p> | <p>【ヒアリング実施日】令和元年5月16日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国評価について、市の取り組み状況の結果、○とできない項目を除いて、概ね評価の基準を満たしている。</li> <li>・個人情報を外部に持ち出す際、センターとして管理簿を作成するなど、適正な管理を行うことができています。</li> <li>・地域ケア会議において個別事例を検討する際、課題の明確化や目標設定を適切に行っており、参加者との情報共有を意識的に行うことができています。</li> <li>・介護支援専門員の円滑な業務遂行を目的とし、今後、意識的に出前講座を開催する等、地域住民に向けた普及、啓発を積極的に行っていくことを期待する。</li> </ul> |
|-----------------------------------|---|



地域包括支援センターの自己評価及び基幹型包括によるヒアリングの結果について、運営協議会に報告を行う。



|                        |   |
|------------------------|---|
| <p><b>茅ヶ崎市総合評価</b></p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国評価項目については、45点(55点満点)であり、全12包括の平均43.0点に比べて高い水準である。</li> <li>・市評価については、10項目全ての基準を満たしている。</li> <li>・前年度(29年度分)指摘した包括内でのトレーナーの役割の明確化については、センター職員の人材育成に関する計画を作成する等、改善がなされている。</li> <li>・前年度(29年度分)の史的項目である苦情対応については、苦情対応フローを明確にして取り組んでいると評価しているが、引き続き、対応の質的向上に努めていただきたい。</li> </ul> |
|------------------------|---|

\* 市としての総合評価は、運営協議会の意見等を踏まえ、決定する。

# 平成30年度 地域包括支援センター事業運営評価シート

資料1-2-11

(センターの名称: 浜須賀地区地域包括支援センターあさひ)

| 国業務評価 |     | 市運営状況評価 |    |
|-------|-----|---------|----|
| ○     | ×   | ○       | ×  |
| 39個   | 16個 | 9個      | 1個 |

|                       |   |
|-----------------------|---|
| <b>地域包括支援センター自己評価</b> | <p>防災・減災に対する取り組みの評価をふまえて、31年度は事業所における事故防止に加え、避難経路の確認や訓練の実施、地域におけるセンターの役割を明確にする取り組みを進めていきたい。</p> <p>また、記録について、新規相談受付や介護予防ケアマネジメントの対応経過など個人に関する記録は日常的に実施しているが、関係機関や地域団体に対し情報提供など行った記録に関しては、31年度中に取り組みたい。</p> <p>その他項目については、概ね実施できている。</p> |
|-----------------------|---|



|                            |  |
|----------------------------|--|
| <b>基幹型包括ヒアリングのポイント及び結果</b> | <p><b>【ヒアリング実施日】</b>令和元年5月16日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別課題を検討する地域ケア会議の開催に至らず、国評価に×がついたものの、地域課題の検討やネットワーク構築に向けた働きかけは行うことができています。</li> <li>・あさひ教室等、独自の講座開催を通じ、地域住民を対象とした介護予防等の普及啓発を行っている。</li> <li>・多様な関係機関との意見交換の場を持つ等、介護支援専門員への支援を視野に入れた取組が行われることを期待する。</li> <li>・市評価の項番10について、事務所内の環境整備等は行うことができています。防災、減災に向けた防災訓練の実施等、具体的な取組を行っていくことが必要である。</li> </ul> |
|----------------------------|--|



地域包括支援センターの自己評価及び基幹型包括によるヒアリングの結果について、運営協議会に報告を行う。



|                 |   |
|-----------------|---|
| <b>茅ヶ崎市総合評価</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国評価項目については、39点(55点満点)であり、全12包括の平均43.0点を下回っている。</li> <li>・国指標の一部評価項目について基準を満たしていないが、実態としては関係機関との連携など事業の推進体制は整備されているものと認識している。来年度に向けては、自己評価での振り返りのとおり、国評価項目も意識した中で取組を推進していただきたい。</li> <li>・前年度(29年度分)の指摘項目である「緊急時の対応」については、対応を定めたマニュアルは整備更新されている。引き続き、平常時からマニュアルに基づくシミュレーションを行うなど具体的な備えを進めていただきたい。</li> </ul> |
|-----------------|---|

\* 市としての総合評価は、運営協議会の意見等を踏まえ、決定する。

# 平成30年度 地域包括支援センター事業運営評価シート

資料1-2-12

(センターの名称: 小出地区地域包括支援センターわかば)

| 国業務評価 |     | 市運営状況評価 |    |
|-------|-----|---------|----|
| ○     | ×   | ○       | ×  |
| 44個   | 11個 | 9個      | 1個 |

|                       |   |
|-----------------------|---|
| <b>地域包括支援センター自己評価</b> | <p>平成30年度は重点目標で掲げた、地域への関わりについては、地域ケア会議を関係機関との連携を目的とした開催を実施した。まちちから協議会への関わりについてもウォーキングマップの作成や、外出困難な方への乗り合いバスの支援等後方支援を行う事が出来た。サロンについても積極的に関わり、アウトリーチから早期に課題を発見し、適切な支援につなげることが出来ている。</p> <p>その結果、次年度には歌体操ももう1ヶ所増設し、ウォーキングについては更なる発展を検討し、乗り合いバスの停留所が増えるなどの成果も見られている。</p> <p>総合事業については、地域性もあり、なかなか浸透せず、関係機関、事業者共に理解が進んだとは言えない、一方で一般介護予防事業については、歌体操、自宅リハビリテーション、サロンリハビリテーションなど事業所内での活用方法が確立し、利用促進が図られ、早期の介護予防、適切なサービス等につながった。</p> |
|-----------------------|---|



|                            |   |
|----------------------------|---|
| <b>基幹型包括ヒアリングのポイント及び結果</b> | <p><b>【ヒアリング実施日】</b>令和元年5月24日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のニーズに基づき、地域の関係機関等と連携を図りながら、移動手段の確保や介護予防の機会の創出などに、積極的に取り組んでいる。</li> <li>・まちちから協議会の福祉部会に参画し、地域との連携を深め、地域活動に積極的に関わっている。</li> <li>・国評価について、市の取り組み状況の結果、○とできない項目を除いて、概ね評価の基準を満たしている。</li> <li>・市評価については、人材育成の管理指導を担っているトレーナーの役割に関する項目を除き、基準を満たしている。スーパービジョンの考え方については、センター内で共有し、意識することで、効果をあげており、業務に支障は生じていない。</li> </ul> |
|----------------------------|---|



地域包括支援センターの自己評価及び基幹型包括によるヒアリングの結果について、運営協議会に報告を行う。



|                 |  |
|-----------------|--|
| <b>茅ヶ崎市総合評価</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国評価項目については、44点(55点満点)であり、全12包括の平均43.0点を上回っている。</li> <li>・災害時の対応については、緊急連絡網や防災マニュアルが整備されているが、平常時から防災マニュアルの検証を行うなど具体的な備えを進めていただきたい。</li> <li>・「個人情報の持ち出し」に関しての評価項目が未達成となっている。昨今の個人情報の取り扱いの厳格化を踏まえ、これまで以上に細心の注意を払いながら事業に取り組んでいただきたい。</li> </ul> |
|-----------------|--|

\* 市としての総合評価は、運営協議会の意見等を踏まえ、決定する。